



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議会議員

発行：日本共産党高槻市議会議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.114 2021年11月

決算委員会

10月19日から25日まで決算委員会が開かれました。質問の中からいくつか、概要をお知らせします。決算委員会は出町が出席しました。

教育

増える不登校の子どもたち

この問題は9月議会できよた議員がとりあげ、不登校支援の教職員の不足や体制を強化することの必要性を訴えています。決算委員会では小学生で2016年度、90人から昨年度（2020）年には157人、67人も不登校の児童生徒が増えている中で、あらためて、不登校支援の現状を聞き、支援の大切さを訴えました。年間90日以上欠席した子どもの数は小学校で59人、中学校で149人、まったく投稿できてい

い子どもは昨年度小学校5人、中学校13人です。友人関係や学業不振が不登校の理由にあげられています。不登校の支援について質問しました。

市は「登校が難しい児童生徒については、教員による家庭訪問、不登校投支援の派遣、スクールカウンセラーのカウンセリングなどにより、支援の方法を検討している。まったく登校できない生徒については「教育センター内の不登校児童生徒支援室『エス

ペランサ』や民間のフリースクールとも連携し、支援を行った」と答えました。

対面朗読をもっと広い視野で

高槻市の図書館における対面朗読について質問しました。昨年度は小寺池図書館のみの利用でした。高槻市のホームページをみると、対面朗読の対象者として「目の不自由な人」と書かれています。その他希望される本をデイスリー（CD）化できることもありま

不登校には一人一人、様々な理由があります。すぐに学校復帰は無理でもどこかで、教員やスクールソーシャルワーカーや民間の支援団体などと日常的につながっていることが大切です。

今、様々な障害が明らかになつてきて、高槻市でも「読み書き障がい」の子どもが認識されています。最初の一歩の読むということでもつまずき、その子を持つている本来の才能が認識されず、開花されにくい現状があります。

市に対して、対象者を子どもに広げること、ホームページをもっとわかりやす

総務費

男女共同参画

DVの相談は電話以外にSNSでも

く提示することなどを求めました。

市は現在、ホーム

ページの掲載内容の変更を実施していると答えました。

高槻市のDV相談は2019年の125人に比べて、2020年は253人と倍化しています。その理由を聞きました。市は「国の特別定額給付金が創設されたことで、配偶者の暴力などで市内に避難されている方たちが、給付金を受け取るにはどうしたらいいのかという相談が増えた」と答え、「また、同居しているも、夫ではなく自分自身が受け取りたいという相談も少なからずあった」ことも明らかにしました。給付金は世

帯主に給付されるため、同居であっても家族関係が崩れていれば、渡らないこともありま

相談者への継続した支援を求めました。そして全国での報告では、電話だけでなくラインなどのSNSでの相談が増えていていることをあげ、電話では相談しにくい人もいる中で、ぜひ高槻市でもラインなどのSNSの活用を要望しました。



土木

新駅の検討は慎重に

まちづくり活動支援として、新駅の委託費643万5千円が出されています。「新駅の検討はどういうことをしたのか、また新駅をつくるJRは。新型コロナウイルスで大きな赤字を出しているの聞いてるが、影響はないのか」と質問しました。

市は「委託の内容としては専門家を招いたまちづくり勉強会の開催、土地利用計画や新たな市街地における利用者動線等の検討を行った」と答えました。

もともと新駅は長期間の計画です。いろいろなこともあり、今後も見直しが必要となります。慎重に対応すべきたと主張しました。

パブリックコメント（意見）を募集

●素案の主な閲覧場所

各担当課、行政資料コーナー（市役所本館1階）、各支所、各コミュニティセンター、市立公民館、市ホームページ）など

●応募方法

11月22日（月）～12月21日（火）に市ホームページ内簡易電子申し込みか直接または、郵送かFAXに件名、意見、住所、氏名（団体の場合は団体名、所在地、代表者氏名）を書いて書く担当課へ

●パブリックコメントのテーマ

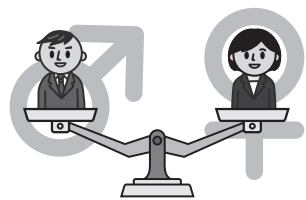
① 立地適正化計画

水害に関する防災指針の追加など同計画の一部変更
担当課 都市づくり推進課（tel 674-7552、fax 661-7008）

② 人権施策推進計画

令和12年度までの人権施策の考え方や方向性を定めるために策定

担当課 人権・男女共同参画（tel 674-7575、fax 674-7577）



市の制度からジェンダー平等を考える

現在高槻市の学童保育は、小学校3年生までが基本です。それは障害児も同じです。4年生以降の障害児が学童保育にそのまま、残ることができないためには、条件があります。その中の一つにひとり親家庭というのがあります。夫婦がそろっていけば残ることはできません。そうなれば、今の日本の社会では給料なども女性の方が低く、どうしても、母親である女性が仕事を辞めたり、正職から非正規になったりします。これは市の制度がジェンダー不平等をつくっていることになるのではないのでしょうか。

12月議会日程

11月30日(火)	本会議／採決
12月2日(木)	本会議／質疑
6日(月)	文教にぎわい委員会 福祉企業委員会
7日(火)	市民都市委員会 総務消防委員会
15日(水)	本会議／採決 一般質問
16日(木)	本会議／一般質問



ぜひ傍聴をお願いします
※いずれも午前10時開会です。

いま、おすすめしています

「しんぶん赤旗」



日刊●月3,497円／日曜版●月930円



地域の声

堤防の護岸工事は？

芥川の堤防の護岸工事が進んでいます。しかし、高槻橋南側はまだ、工事も始まっていません。川西2丁目の方から「あそこはどういうのか、今のままなのか、大雨がくれば不安で何度も見に行く」と質問をいただきました。市の下水河川企画課に問い合わせをしました。府の工事ですが、来年の7月まで

には完成する計画を立てているので、もうすぐ工事がはじまるということです。（写真）